

平成15年度 全建賞受賞!

呉駅周辺のバリアフリー空間整備事業

平成15年度に行った、JR呉駅を中心に南北方向の連絡をスムーズに行うための、南方向への自由通路の新設や、これに接続するエレベーターの新設(7箇所)及び視覚障害者誘導ブロックの設置等の呉駅周辺のバリアフリー空間整備事業が(社)全日本建設技術協会の平成15年度全建賞を受賞しました。

全建賞は全国で59事業が受賞し、広島国道事務所では「横川駅前交通結節点改善事業」と「呉駅周辺バリアフリー空間整備事業」のダブル受賞となりました。



TEL 0823-73-4798
FAX 0823-73-9414

全建賞とは?

全建賞は、社団法人 全日本建設技術協会が、昭和28年度に設置しました。「建設技術の活用」、「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、優れた成果が得られた事業や施策を選考し、これを実施した機関を表彰するものです。



呉駅前横断歩道橋



特に優れた成果を得られた項目

1) 利用者の意見の反映

- ・基本構想検討委員会への住民参画(H13. 2~H14. 1)
- ・ヒアリング調査の実施(H13. 3)
- ・総点検の実施(H13. 6, H13. 11)

2) 施設設計時における意見聴取

施設の設計段階において、施設の規模、構造や周辺の状態などを平河子利用者、視覚障害者に説明するとともに、利用するに当たっての改善意見を聴取し、すべての人が安心できる「シースルー構造」へ変更し、施設整備に着手した。(H12. 10)

3) 啓発活動及び施設設備の評価

JR呉駅周辺では、視覚障害者誘導ブロック上に自転車や物が置かれている光景が多く見受けられた。さらなるバリアフリーを進めるには、施設設備はもちろん、市民が高齢者や身体障害者等に対して理解を深め、移動の手助けや協力を行うようにするため、広報活動、啓発活動、教育活動を実施する必要がある。そこで、地元NPO団体と連携を取り、小中学生に参加してもらい、関係機関の協力のもとに次のような活動を実施した。

- ①視覚障害者誘導用ブロック上に啓発シールを貼り付け。
- ②呉駅周辺の歩行者などにアンケートを実施し、エレベーター等施設の設置による効果の検証。
- ③駐輪禁止の呼びかけやバリアフリーの啓発を目的とした内容のチラシを歩行者、自転車利用者に配布。



平成14年11月に荒神小学校と両城中学校の皆さんが啓発活動を行っている様子